

KYOTO AGORA2022 グループ3 環境・循環系から未来を見る勉強会

半場祐子◎布施泰朗○・北川石英○ 高橋和生○ 武石直樹 山田重之 三宅 祐輔

概要と目的

●微細なプラスチックごみの総称である「マイクロプラスチック」は、近年、水域生態系において深刻な環境問題となっている。しかし、マイクロプラスチックについては、微量であることから捕集技術が確立されておらず、生態系内における定量化が困難である。また、生体への影響についても、必ずしも明らかになっていない。

●本勉強会では、マイクロプラスチックが生体に与える影響について学ぶとともに、マイクロプラスチック捕集や生態系内・生体内における定量分析のための新たな技術開発の可能性を探ることを目的とする。

到達目標

●マイクロプラスチックの由来や生態系への影響について勉強会を開催し、現時点で明らかになっていること、今後の課題などを明確化する。

●マイクロプラスチックが生体に与える影響について、勉強会を通じて現時点での知見をまとめるとともに、数値シミュレーションなども使いながら調査を行う。

●生体におけるマイクロプラスチック存在量について、定量化の方法を探索し、方向性を見出す。